

科目名	ビジネススキル2							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	音響芸術科 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	大前美和(トレランスアクト)		教員の実務経験	有	実務経験の職種	ビジネススキル 育成支援			

【科目の目的】

社会で活躍するために必要な力について社会人基礎力を中心に学び、様々な状況へのビジネス対応力を磨くことを目的としている。社会人としての心構えや、社内外の方々と良い人間関係を築くためのコミュニケーション力・ビジネスマナーを習得する。毎回課題に取り組むことで、来客対応、企業訪問、上司への報告・連絡・相談の仕方など社会人として必要な意識とビジネスマナーを身につける。

【科目の概要】

社会で活躍するために求められるビジネスマナーをビジネスシーンに合わせて実践できるように学ぶ。ビジネスにおける意思疎通の重要性を理解して、話し方・聴き方及び立ち居振る舞いを身につけ、さらには相手を大切にすおもいやりの心を育て、信頼関係に基づく温かい人間関係が築けるように、コミュニケーション力を習得する

【到達目標】

- A. 周りの人と良い人間関係を築くために必要な立ち居振る舞い・言葉遣い等のビジネスマナーを習得し、就職活動や社会人としての活動において実践できるようになる。
- B. 社会人として必要とされるコミュニケーション力を理解し、社会に出て自身の活躍の場を広げていけるようになる。
- C. 社会人として踏み出すために、社会保障制度や税金、お金についての知識を得る。
- D. 「メンタルヘルス」の問題を知り、問題に立ち向かうための対処法を心得ておく。
- E. メール・送付状などビジネス文書の簡潔・的確な書き方を習得する。

【授業の注意点】

授業課題は、締切厳守で必ず提出してください。
また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができないため注意してください。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
到達目標 A	ビジネスマナーを自信をもって実践できる。	ビジネスマナーをある程度自信をもって実践できる。	ビジネスマナーを、努力して実践しようとしている。	ビジネスマナーの習得および実践に不安がある。	ビジネスマナーが習得できていない。
到達目標 B	社会人として必要とされるコミュニケーション力を理解・習得し、社会に出て自信をもって生かしていくことができる。	社会人として必要とされるコミュニケーション力をある程度理解・習得し、社会に出て生かしていくことができる。	社会人として必要とされるコミュニケーション力を理解する努力をしておき、社会に出てある程度実践できる。	社会人として必要とされるコミュニケーション力の理解・実践に不安がある。	社会人として必要とされるコミュニケーション力の理解・習得ができていない。
到達目標 C	社会保障制度や税金、お金についての知識を習得し、自信をもって社会人として踏み出すことができる。	社会保障制度や税金、お金についての知識についてある程度習得できている。	社会保障制度や税金、お金についての知識を習得する努力をしている。	社会保障制度や税金、お金についての知識習得に不安がある。	社会保障制度や税金、お金についての知識が習得できていない。
到達目標 D	「メンタルヘルス」の問題を理解し、問題に立ち向かうための対処法を習得している。	「メンタルヘルス」の問題をある程度理解し、問題に立ち向かうための対処法をある程度習得している。	「メンタルヘルス」の問題を理解する努力をしておき、問題に立ち向かうための対処法を習得する努力をしている。	「メンタルヘルス」の問題を理解する努力をしているが、問題に立ち向かうための対処法の実践に不安がある。	「メンタルヘルス」の問題の理解および問題に立ち向かうための対処法の習得ができていない。

到達目標 E	ビジネス文書の簡潔・的確な書き方を習得できている。	ビジネス文書の簡潔・的確な書き方をおおむね習得できている。	ビジネス文書の簡潔・的確な書き方を習得する努力をしている。	ビジネス文書の簡潔・的確な書き方を習得に不安がある。	ビジネス文書の簡潔・的確な書き方が習得できていない。	
【教科書】 適時プリントを配布						
【参考資料】						
【成績の評価方法・評価基準】 ルーブリックに基づく評価を行う。評価方法は主にグレード試験と提出物で行う。また補足的にレポート評価を行う場合もある。						
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。						
科目名		ビジネススキル2			年度	2025
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	科目の学習目的・到達目標を理解する。企業が求める人物像について考える	1 授業目的・目標	授業の目的・目標を理解し、効果的な学習に繋げる	3	
			2 ビジネスマナーとは	ビジネスマナーの意味と重要性を理解する		
			3 企業が求める人物像	企業が求める人物像を具体的に理解する		
2	来客応対（歓迎する心を形にする出迎えから見送りまで）	歓迎する心が伝わる来客応対の流れとポイントを理解し、実践できるようになる	1 来客応対	来客応対の重要性、心構え、流れを理解する	3	
			2 来客応対のポイント	来客応対の具体的な行動・マナーを確認する		
			3 席次	席次の意味を知り、上座を理解する		
3	企業訪問時のマナー（実践編）	企業訪問時の立ち居振る舞い・言葉遣いを理解し実践できるよう準備する	1 企業訪問	企業訪問の流れと留意点を理解する	3	
			2 席次	様々なシーンにおける席次を理解する		
			3 名刺交換	名刺交換の手順を理解し、受け取ることができる		
4	社会保障制度と税金の基礎知識	社会保障制度と税金の基礎知識を学習する	1 社会保障制度	社会保障制度の基礎を理解する	3	
			2 社会保険5種	身近な社会保険5種を理解する		
			3 税金	今後多くの税金にかかわることを知る		
5	ひとり暮らしに必要な金銭管理	ひとり暮らしに必要な金銭管理を学習する	1 可処分所得	可処分所得とは何かを理解する	3	
			2 ひとり暮らしでのお金管理	ひとり暮らしでのお金を具体的に理解する		
			3 ライフプランを考える	人生での計画的なお金の使い方について学ぶ		
6	もしも挫折してしまったらメンタル・モチベーション維持のために心がけること	メンタル・モチベーション維持のために心がけることを理解し、挫折を乗り越えられるよう備える	1 メンタルヘルスの現状	現代社会のメンタルヘルスの現状を理解する	3	
			2 ストレス耐性チェック	チェックシートを用いて自分自身のストレス耐性を知る		
			3 ストレスコーピング	挫折を乗り越えていくための方法を知る		
7	目的に合った効果的な話し方（仕事ができる人の報告・説明の仕方）	仕事を進める上での大切なコミュニケーションを理解する	1 社会人に求められるコミュニケーション	社会人として求められるコミュニケーション力を知る	3	
			2 報告・連絡・相談	報告・連絡・相談の重要性と具体的な方法を理解する		
			3 効果的な話し方	わかりやすく、正確で簡潔な話し方を知る		
8	社会人基礎力①『前に踏み出す力』	社会で求められる力を社会人基礎力を中心に理解する	1 社会で求められる力	企業が学生に期待する能力を知る	3	
			2 社会人基礎力とは	社会人基礎力の概要を理解する		
			3 前に踏み出す力	「前に踏み出す力」を具体的に理解する		
9	社会人基礎力②『考え抜く力』	社会人基礎力の「考え抜く力」を理解する	1 考え抜く力	「考え抜く力」を具体的に理解する	3	
			2 考え抜く力チェック	チェックシートで「考え抜く力」の自分の現在地を知る		
			3 社会の現状	「考え抜く力」を必要とする現代社会を理解する		
10	社会人基礎力③『チームで働く力』	社会人基礎力の「チームで働く力」を理解する	1 チームで働く力	「チームで働く力」を具体的に理解する	3	
			2 チームで働く力チェック	チェックシートを使い「チームで働く力」の自分の現在地を知る		
			3 アサーション	チームでの効果的なコミュニケーション方法を知る		

11	相手の心をつかむスピーチ	相手にわかりやすく正確に伝え、心を動かすスピーチを知る	1	プレゼンテーション	プレゼンテーションのポイントを理解する	3
			2	文章の構成	伝わる効果的な文章校正を理解する	
			3	PREP法	PREP法を理解し、実践する	
12	相手目線の迅速、簡潔なビジネスメール	ビジネスメールの種類、目的と実際の書き方を理解する	1	ビジネスメール	ビジネスメールの種類、用途等概要を理解する	3
			2	添え状・手紙	添え状・手紙の具体的な書き方を知る	
			3	e-mail	e-mailの特性・書き方のポイントを理解し、実際に書けるようになる	
13	社会人に求められる的確な言葉遣い	社会人に求められる言葉遣いを理解する	1	敬語	敬語の種類と重要性を理解する	3
			2	間違えやすい言葉遣い	二重敬語・若者言葉・間違えやすい言葉遣いを知る	
			3	言葉遣い練習	様々な例題を通して、自分の「敬語力」を知り、これから鍛えるべき言葉遣いを理解し、実践につなげる	
14	冠婚葬祭マナー	人生の通過儀礼である「冠婚葬祭」の知識・マナーを身に着ける	1	冠婚葬祭とは	冠婚葬祭の概要を理解する	3
			2	冠婚葬祭	冠婚葬祭それぞれの具体的な儀礼・マナーを知る	
			3	日本文化としきたり	冠婚葬祭を通して日本文化の歴史や風習を理解する	
15	後期の総復習・期末試験	全体の総復習を行い理解度を試験で確認する	1	総まとめ	第1回から14回までの授業を振り返る	3
			2	期末試験	期末試験で授業の理解度を確認する	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考等						